



2026
9
No.894

TOPICS

- 新しい農業委員を紹介します……………5P
- 智頭町公民館納涼祭……………裏表紙



今月の表紙

石谷家住宅でブラックライトで光る 「ウランガラス」の展示会が行われています

現在、石谷家住宅一号蔵では、妖精の森ガラス美術館所蔵「体験型ウランガラス作品展～ゆらめく熱～」を開催しています。

ブラックライトを照らすと、暗闇の中にウランガラス作品が鮮やかな緑色に輝き、幻想的な世界が浮かび上がります。見ごたえたっぷりの展示となっています。

展示は9月6日(日)まで開催されていますので、ぜひ足を運んでみてください！



the most beautiful
villages
in japan

智頭町は
「日本で最も美しい村連合」
に加盟しています。

まちの話題

6/29

智頭小学校四年生ほのぼの施設見学会



智頭小学校では、「人にやさしいまち 智頭」をテーマに、全ての人にとって暮らしやすい町づくりや公共施設について学習しています。

今回は、「ほのぼの」の施設見学を通して、病院と福祉課、社会福祉協議会が連携した、住民の生活を支える仕組みについて学びました。福祉課では、妊娠・子育てに関する相談から高齢者福祉に関することまで幅広い相談に対応し、住民の健康や暮らしを支える役割について説明を受けました。智頭デイサービスセンターでは、利用者の体操の様子を見学し、後出しじゃんけんを体験。車いすのまま入浴できる設備にも触れました。智頭心和苑では、デイルームや浴室のほか、車いすや電動ベッド、寝たまま入浴できる機械など介護に必要な用具を見学しました。

また、施設内に設けられた手すりや歩行器、見やすい案内表示、ハートフル駐車場、エレベーターなど、誰もが利用しやすい環境づくりの工夫について理解を深めました。

今後は、認知症ワークショップや車いす体験を通して、自分たちにできることや暮らしやすい町づくりについて学びを深めていきます。



7/4

戦後81年 智頭町戦没者慰霊祭を挙行了しました ほのぼの ひだまりホール



7月4日に挙行了した本年度の戦没者慰霊祭には、遺族会会員をはじめ一般町民など、約70人が参列されました。

町長の慰霊の辞では、「今日の我が国の平和と繁栄は、戦没者の尊い命と、ご遺族の苦難の歴史の上に築かれている。これらの悲しみ、苦しみを二度と繰り返さぬよう、平和な社会を守り続けることだけが、戦没者の心を鎮める事にほかならない。そのために、悲惨な戦争が実在したこと、英霊とご遺族の皆様の思いを、子々孫々に伝えていかねばならない」という思いが述べられました。

慰霊祭に続き、鳥取県遺族会から、「平和の語り部」の活動が紹介されました。

この活動は、戦争体験者や遺族の記憶、地域に残る戦争の歴史を記録し、戦争の悲惨さや平和の尊さを次世代へ伝えることを目的としています。

戦争体験者が少なくなる中、その記憶をどのように受け継いでいくかが課題となっています。戦争にまつわる話や体験談などがありましたら、鳥取県遺族会までお寄せください。皆さまの記憶や思いが、未来の平和につながります。

一般社団法人 鳥取県遺族会 鳥取市本町三丁目201 ☎0857-39-2270

まちの話題

6/23

クマ学習会を開催しました！ 智頭小学校



智頭小学校1年生の児童29人を対象に、クマ学習会を開催しました。(講師：(株)野生動物保護管理事務所)

スライドを使用した学習会で、ツキノワグマの生態や、万が一ツキノワグマに出合ってしまった時の対処法などを学びました。そのほかにも、ツキノワグマの毛皮や頭蓋骨の標本を見たり、触れたりする機会もあり、児童たちは興味津々で、講師への質問も活発に行っていました。

本学習会に参加した児童からは「クマと出合わないために、鈴を付けて自分達がいることを知らせる」等の感想がありました。

町は、この事業に併せて、毎年、智頭小学校新一年生に「クマ鈴」を配布しており、この学習会により、クマ鈴を配布する意義等を理解してくれたと思います。今後も引き続き、クマ対策に関する取組を続けていきます。

学習会の内容概略

- 基本的には臆病な生き物なので、人の気配を察知したらクマの方から去って行くことが多い。クマの生息域に入る時は、クマ鈴やラジオなどによりまずは出合わないようにすること
- 万が一出合ってしまった場合は、慌てず、騒がず、クマの動きを監視しながら後ずさりしてその場から立ち去ること
※ただし、クマの動きは予見が難しいことから、これらはあくまでも生存率を高める行動です。
- 人にとっては、食べられないものでもクマにとっては餌となることがあるため、放置している果樹を撤去する、野菜クズなどを畑などに捨てないようにすることが大切

7/9

智頭町と智頭町複業協同組合が連携協定を締結



このたび、智頭町と智頭町複業協同組合は森林保全及び地域活性化に関する連携協定を締結しました。

今後、こもれびの森をはじめとした町有林をフィールドとして、森林内への植栽、ビオトープの整備による生物多様性の向上、マルチフォレストの育成等に取り組むことで、森林の価値向上と地域の活性化を目指します。

◀協定締結式の様子

新しい農業委員を紹介します

任期 令和11年7月19日まで

任期満了に伴い、新しい農業委員が決まりました。
現場活動に加え、総会に出席、審議し、決定します。

智 頭

会長職務代理



草刈 満男
☎75-0415

【担当区域】
河原町・段
本折・久志谷
南方



古谷 葉子
☎71-0356

【担当区域】
市瀬・中町
上町・下町
上市場

山 形



春摘 要
☎75-0713

【担当区域】
篠坂・毛谷
大内・郷原
西野



小宮山 晃次
☎75-3707

【担当区域】
芦津・八河谷
大呂

土 師



宮内 敬介
☎75-6033

【担当区域】
木原・三明・塩田
長瀬・天木・横田
石田・紺屋土居



浮田 益実
☎78-0456

【担当区域】
大坪・十日市
慶所・土師駅前
山田



萩原 克理
☎75-3217

【担当区域】
三田・山根
穂見

那 岐

会 長



前川 義憲
☎78-0656

【担当区域】
東宇塚
西宇塚
河津原



長石 憲太郎
☎090-8995-5569

【担当区域】
大屋・早瀬
真鹿野



谷口 貴美恵
☎78-0700

【担当区域】
野原・奥本
大背

富 沢



西川 益己
☎75-2958

【担当区域】
口波多・波多
口宇波・宇波



細山 周一
☎080-3466-5408

【担当区域】
岩神・坂原
中田・惣地
新見

山 郷



葉狩 健一
☎75-3593

【担当区域】
中原・福原
駒帰



青木 正篤
☎75-0226

【担当区域】
尾見・西谷

農地利用最適化推進委員を紹介します

任期 令和11年7月19日まで

任期満了に伴い、新しい農地
利用最適化推進委員が決まりま
した。主に担当区域内において、
現場活動を行います。

智頭・富沢地区全域



山本 清人
☎75-1307

土師地区全域



寺坂 和也
☎75-2068

那岐地区全域



前田 賢太郎
☎080-5048-7453

山形・山郷地区全域



西沖 和己
☎090-4694-0914

農地の転売・転用(墓地・宅地等)の相談は、地区担当農業委員会・推進委員または農業委員会事務局へ
問合せ先 農業委員会 事務局 ☎75-4121

企業版ふるさと納税をいただきました

宮崎県東臼杵郡椎葉村

ウインドラン株式会社様

希望用途

つながる人財・仕事づくり

寄付額

10,000千円

鳥取市田園町

株式会社吉備総合電設様

希望用途

防 災

智頭町への納税、ありがとうございました。

【鳥取県下水道協会】

下水道排水設備工事責任技術者試験及び更新について

鳥取県下水道協会は、排水設備工事の設計、施工などの技能をもった責任技術者の資格
試験及び更新を次のとおり実施します。

試 験		更 新
試験日・会場	11月7日(土) 倉吉体育文化会館 大研修室 (倉吉市山根529-2)	対象者 技術者証の有効期間が令和9年(2027年)3月 31日までの人
受付期間	9月1日(火)～9月30日(水) ※土日祝日を除く	案内配布 9月頃、更新対象者本人宛に更新案内等を郵 送します。
受験案内配布・申込受付場所	県内市町村の下水道担当課(日南町を除く)	受付期間 10月1日(木)～10月30日(金) ※土日祝日を除く
合格発表	12月11日(金)	受付場所 県内市町村の下水道担当課 (日南町を除く)

更新講習について

在宅学習での更新講習とします。更新案内と併せて、申請書・テキスト・問題・解答用紙を送
付します。テキストでの自宅学習後に問題を解き、解答用紙を申込の際に提出してください。

新技術者証の交付について

令和9年2月頃に新責任技術者証が登録住所に送付されます。お手元に届きましたら古い
責任技術者証は自身で必ず破棄してください。

問合せ先 役場税務住民課生活環境室 ☎75-4114

毎年9月10日は自殺予防デー
9月10日～16日は自殺予防週間です

自死の状況

日本の令和7年の自死^{※1}者数は1万9,188人で、令和6年に比べ1,132人減少しています。男女別にみると、男性は625人減少、女性は507人減少となっています。また、男性の自死者数は、女性の約2.2倍となっています。

鳥取県の自死者数は、令和元年から令和3年まで増加していましたが、令和4年は83人に減少し、令和5年は72人、令和6年は65人、令和7年は57人に減少しています。男女別にみると、男性は37人、女性20人となっており、全国と同様に男性の自死者数が多く、女性の約1.9倍となっています。

※1 鳥取県では、法律名等一部の用語を除き、原則として、「自殺」という言葉に代えて「自死」という言葉を用いることとしています。

自死の背景

自死は、体や心の健康、暮らしや仕事、経済面の悩み、家族の問題など複数の要因が複雑に絡みあっています。悩みや心配ごとをひとりで抱えて誰にも相談できず、心理的に追い込まれた結果、「自死でしか解決できない」と思い込んでしまうケースが多いようです。

自死を防ぐためにできること

自死を予防するためには、行政や関係機関の取り組みだけでなく、私たち一人ひとりが自死に関心をもつことが大切です。周囲の人に気を配り、「ちょっといつもと様子が違う」と感じる人がいれば、その人の話をじっくり聴き、アドバイスや助言ではなく、その人の気持ちを受け止めてください。

必要だと思うときは、専門機関等に相談しましょう。福祉事務所でも随時相談に応じていますので、遠慮なく連絡ください。

こんなときは早めに相談を！

- 寝付けない
- 夜中に何度も目覚める
- 早朝に目が覚め、その後寝付けない
- 朝なかなか起きられない
- 昼間眠気が襲い、生活に支障がある

質の良い睡眠をとるために・・・

- 朝はなるべく同じ時間に起きる
- 朝起きたら光を浴びて体内時計をリセットする
- 食事はなるべく同じ時刻にとる
- 寝酒、寝る前のカフェイン摂取はしない
- ぬるめのお風呂に入る
- 眠たくなってから寝床に入る
- 昼間は適度に体を動かす
(寝る直前は激しい運動はせず、ストレッチ程度がオススメ)

ワンポイントアドバイス

“睡眠は健康のバロメーター”

睡眠は心身の疲労回復に大きな役割を担っています。また、心の不調が睡眠の問題としてあらわれることもあります。

相談先	電話番号
鳥取市保健所 保健医療課 心の健康支援室	0857-22-5616
鳥取県立精神保健福祉センター	0857-21-3031
こころの健康相談統一ダイヤル	0570-064-556
チャイルドライン(18歳まで利用可能)	0120-99-7777
24時間子供SOSダイヤル	0120-0-78310
自殺予防いのちの電話	0120-783-556
鳥取いのちの電話	0857-21-4343

相談・問合せ先 福祉事務所 ☎75-4102



9月は「あなたの健康」について考える月間です

がん制圧月間 ～がん検診 定期受診は 自己投資～

がんと聞いて、「自分もかかるかもしれない」と思う人は少ないかもしれませんが、がんは2人に1人はかかると言われており、日本人の死因第一位です。他人事ではありません。がんは早期発見できれば治癒する確率が高まります。

早期発見のために、定められた間隔でがん検診を受け、精密検査が必要と判断された場合は、必ず精密検査を受けるようにしましょう。

また、食生活や運動などの生活習慣を整えることは、がん予防にもつながります。

健康増進普及月間

1に運動 2に食事 しっかり禁煙 良い睡眠 ～健康寿命の延伸～
生活習慣の積み重ねが健康状態に大きく影響します。

- 1 バランスのとれた食事を、1日3回、適量とっていますか
- 2 身体を動かす機会がありますか
- 3 良い睡眠はとれていますか
- 4 たばこは吸っていませんか
- 5 お酒は1日1合までにしていますか
- 6 週2日程度の休肝日がありますか



食生活改善普及運動

食事はバランスが大切です。特定の食べ物に偏ることなく、いろいろな食品を少しずつ食べることで、自然と栄養バランスが整います。ただ、意識しないと不足しがちなものが野菜です。

野菜は、生の状態であれば両手3杯分程度が1日の適量です。これは、火を通すと小鉢5皿分程度になります。皆さんは毎食、野菜を食べていますか。

～智頭町のがん検診、国民健康保険に加入している人の特定健診、後期高齢者医療制度に加入している人の後期高齢者健診は、いずれも無料で受けられます。今年度の健診をまだ受けていない人は、この機会にぜひ受診を！～

9月24日～30日は結核・呼吸器感染症予防週間です！

結核は、全国で年間1万人近くの新たな患者が発生し、およそ1,700人が亡くなっている重大な感染症です。鳥取県東部においても毎年新たな患者が発生しており、大半は70歳以上の高齢者ですが、近年は60歳台の人も増えています。

次のような症状があるときは、できるだけ早く受診しましょう

- 結核は早期発見すれば、通院・服薬治療で治ります。
- 咳が2週間以上続く
 - 食欲不振が続き、体重が減ってきた
 - たんがよく出る、たんに血が混じる
 - 息を吸うときに胸が痛む
 - 微熱が続く、体がだるい



高齢になるほど咳やたんの呼吸器症状が出にくく、
なかなか結核の発病に気づかないことがあります。
65歳以上の人は、症状がなくても
年に1回は結核検診(肺がん検診と同時実施)を受けましょう。

問合せ先 保健センター福祉課 ☎75-4101

“できない”から“できる”へ。希望をつなぐ「新しい認知症観」 9月は「認知症月間」です

「認知症になったら、なにもできない」と思い込んでいたのは、もう昔のことです。認知症になっても、自分らしい暮らしを諦める必要は決してありません。一足先に認知症と共に生きることになった皆さんは、できないことよりも、できることに目を向け、前を向いて歩き始めています。

「新しい認知症観」とは、認知症を特別なものではなく、誰にでも起こり得る身近なこととしてとらえる視点です。

これまでの経験や得意なことを活かし、仲間とつながり、住み慣れた地域の中で、笑顔を交わしながら暮らしていく。本人はもちろん、家族も、地域の人も、それぞれの立場でお互いを支え合いながら、希望を持って自分らしく生きていける。そんな日常が当たり前の智頭町をみんなでつくっていきましょう。



“認知症のわたしのくらしの工夫展” 開催します

認知症になったら何もできなくなるわけではありません。ちょっとした工夫で、自分らしい暮らしを続けていけます。この展示では、本人や家族、専門職が実際に取り入れている「くらしの工夫」を紹介します。

それを知っていただくことで、皆さんの認知症への見方が変わり、生活のヒントや参考になればうれしく思います。

期 間 9月1日(火)～9月30日(水) ほのぼの・そよかぜどおり
9月16日(水)～9月30日(水) ちえの森ちづ図書館

それぞれの会場に『希望の木』を設置しています。
認知症の本人をはじめ、さまざまな人が認知症を“自分ごと”として考え、自分のこれからの暮らしや大切にしたいこと、やりたいことなどの「希望」を書き留めていただくことができます。この機会に、前向きになれる、楽しい「希望」にたくさん触れてみてはいかがでしょうか。

リモコンは家にたくさん
みんな同じに見えるから
写真でわかりやすく
買い物リストは写真に撮って
スマホで管理
買う物が目で見て分かる

問合せ先 地域包括支援センター ☎75-6007

『カムカム健康プログラム』を開催します！

『カムカム健康プログラム』とは、オーラルフレイル(口腔の機能低下)を予防することを目的として、東京科学大学が開発したプログラムです。東京科学大学大学院教授 松尾浩一郎先生・国民健康保険智頭病院 歯科医師 久保克行先生などを講師にむかえ、全4回の教室で歯の健康や栄養について学びます。よく噛んで食べることを考慮して作った「カムカム弁当」の実食も行います。

お口が健康でないと必要な栄養が十分とれず、全身の健康状態にも影響します。この機会に、オーラルフレイル予防について学び、健康寿命の延伸を目指しましょう！

場 所 ほのぼの ひだまりホール
持ち物 筆記用具、飲み物、お弁当代(500円)
参加定員 50人
申込方法 福祉課の窓口か電話にてお申し込みください。
申込期限:9月10日(木) ※定員になり次第、申込みを終了します。
注意事項 アレルギーをお持ちの方は、お申し出ください。



第1回 9月16日(水) 午前11時～午後1時 「オーラルフレイルについての講話・口腔機能測定会」
第2回 10月28日(水) 午前11時～午後1時 「咀嚼(そしゃく)・口腔ケアについての講話」
第3回 11月25日(水) 午前11時～午後1時 「栄養についての講話」
第4回 12月23日(水) 午前11時～午後1時 「まとめの講話・口腔機能測定」

問合せ先 保健センター福祉課 ☎75-4101

智頭病院だより

带状疱疹、带状疱疹ワクチンに関して

智頭病院内科科長 加藤 弘之

最近、外来で「近所の人が带状疱疹(たいじょうほうしん)になって、すごく痛そうだった」「ワクチンを打ったほうがいいの?」と相談されることが増えてきました。そこで今回は、50歳を過ぎたら他人事ではない「带状疱疹」と「带状疱疹ワクチン」について、お話しします。

带状疱疹って、どんな病気?

带状疱疹は、体の片側にピリピリ、チクチクとした痛みが起こり、赤いブツブツや水ぶくれが帯状にできる病気です。

その原因は「水ぼうそう」のウイルスです。水ぼうそうは治ったあとも、ウイルスが体内の神経に潜んでいます。加齢、疲労、病気などで免疫力が落ちると、ウイルスが暴れ出します。「一番怖いのは「長引く痛み」です。水ぶくれが治っても、激しい痛みが残ることがあります。

しかし、带状疱疹はワクチンで予防できるようになりました。50歳以上で約97%という高い予防効果があり、その効果は約10年間、維持されるものもあります。

よくある質問(Q&A)

Q 带状疱疹になったことがあっても打てる?

A 打てます。

かかったことがある人でも、数年経つと免疫が落ち、再発することがあります。再発予防として接種はとも有効です。

Q 副反応は強いのか?

A 接種箇所の痛みや腫れ、だるさや熱が出る人が多いです。

これは体中で強い免疫を作っているサインでもあります。多くは3日以内に自然に治まりますが、接種の翌日は大切な予定を入れない方が安心です。

Q 費用はどれくらいかかる?

A 接種券の自己負担額を確認してください。65歳以降、5年刻みで、その年齢の年度内に接種する必要があります。65歳未満の人でも、全額自己負担となりますが、接種できます。



接種のための簡単STEP

① 定期接種券を受け取る

※智頭町では、65・70・75・80・85・90・95・100歳の人に、4月上旬ごろ送付しています。

② 智頭病院に予約の電話をする

③ 予診票を記入し、接種する

带状疱疹はかかると本当辛い病気です。しかし、今は「ワクチンで大部分が防げる病気」になりました。
「自分は大丈夫」と思わず、健康で元気な毎日のため「お守り」として、智頭病院でワクチンの接種を検討してみませんか?
また不安なことや、気になることがあれば、いつでも外来で相談ください。

带状疱疹ワクチンを受けませんか?

带状疱疹は、50歳代から発症率が上昇し、80歳までに約3人に1人が経験するといわれています。

問合せ先 国民健康保険智頭病院 ☎75-3211

図書館だより

第1回

子どもと本を知る講座
「メディアに
頼りすぎない子育て」

◇日時 9月19日(土)
午後2時～3時30分

◇講師 藤内千春さん
(鳥取県ケータイ・イン
ターネット教育推進員)

◇定員 15人
◇参加費 無料

木のおもちゃを会場内に設置
しているので、親子連れで遊び
ながら学べます。参加を希望さ
れる場合は、ちづ図書館に申込
みください。
ぜひ、気軽に参加ください。



時代小説(文庫版)コーナー 新しく出来ました

長編時代小説の文庫版のみを
集めたコーナーが出来ました。
場所は、つながる本棚近くの小
説棚7です。
偉人・歴史にまつわる壮大な
物語から人情味溢れるほっこり
するような物語、妖怪がでく
る少し不思議な物語など気にな
る作品がぎっしりと見つかります。
ぜひ、利用ください。
※1冊完結の時代小説の場所は
変わっています。



「あたまイキイキ音読教室」

昔話や詩などをみんなで声に
出して読む会です。

◇日時 9月11日(金)

◇場所 午前10時30分～11時15分
ちえの森ちづ図書館
つどいの部屋

※健康ポイントポイント進呈

「今月のおはなし会」

あかちゃんから楽しめるおは
なし会です。

◇日時 9月13日(日)

◇場所 午前10時30分～11時
9月25日(金)
午前10時30分～11時30分
ちえの森ちづ図書館
おはなしの部屋

9月図書館カレンダー — 9月19日(土)～25日(金) —

臨時開館日 23日(水・祝)

土	日	月	火	水	木	金
19	20	21	22	23	24	25

■ 休館日(毎週月曜日は休館)

※ 休館中の本の返却はブックポストを
利用ください。

新着図書(一般書)

・サワコと比呂美 女じまい
・二月に憂鬱な君へ お薦さんの神楽坂日記
・警察へ行こう
・丹心
・ホルモー燦燦
・夜の恩寵
・湾
・猫の物語アンソロジーしっぽの王国
・宇野千代100の言葉

阿川 佐和子
西 條 加奈
真 保 裕一
仁 科 斂
万 城 目 学
三 浦 しをん
宮 本 輝
米 原 万理他
中 山 庸 子

・本ってだいたいこうなってますよね?
図解で探る本のひみつ
・沖縄を語りつぐ
・パリの幸せおこもり暮らし

西岡 裕二
川平 朝清
井筒 麻三子

新着図書(児童書)

・いのちをまもるぼうさいの絵本
・なにをたべてきたの?
・やまゆり
・ねこねこ ねこちゃん

国崎 信江監修
岸田 衿子
たてのひろし
でくねいく
その他多数

申込み・問合せ先

ちえの森ちづ図書館

☎75-4123



令和8年度 智頭町民ポッチャ大会

スポーツの日記念イベントとし
て智頭町民ポッチャ大会を開催し
ます。ポッチャは誰もが手軽に楽
しめるスポーツとして多くの人に
親しまれています。

今年は、智頭町在住の人はもち
ろん、智頭町内に勤務している人
なら誰でも参加可能です。1チー
ム3人以上、先着16チームまで募
集しています。ぜひ参加ください。

日時 10月12日(月・祝)
午前9時～正午

場所 智頭勤労者体育センター

参加条件 智頭町に在住、または智頭
町内に勤務している人

申込締切 9月30日(水)

智頭町文化祭の開催について

文化協会加盟団体など、文化活
動をしている町民のみなさんの一
年間の集大成「智頭町文化祭」を開
催します。

展示発表会・芸能発表会の会場は
いずれも総合センターで、入場は
無料です。気軽にお越しください。

展示発表会

・10月24日(土) 午前9時～午後5時
・10月25日(日) 午前9時～午後4時

芸能発表会

・11月14日(土) 午後3時～6時
・11月15日(日) 午前10時～午後3時



展示発表会の様子



芸能発表会の様子



中央公民館×ちづ図書館 連携講座を開催しました!

「災害時どうする?」

ペットとの避難と車中泊体験

7月12日(日)午後2時からち
えの森ちづ図書館でペット防災を
テーマに生涯学習講座を開催しま
した。講師に、人と動物の共生セン
ター鳥取支部長・松本温子さんをお
招きし、近年関心の高まっている
ペットとの避難について学びま
した。

また、実際の車を用いて、車中泊
に必要な装備や注意点を教わりま
した。「猫が4匹いるので、ケージ
の準備など日頃から備えていた
い」「備蓄は意識しているが避難訓
練の大切さを感じた。避難開始の
タイミングも知れてよかった」な
どの声が聞かれました。



車中泊について熱心に質問する参加者

申込み・問合せ先

中央公民館(総合センター)

☎75-3113・3114

キノコの食中毒に注意!!

有毒な野生キノコによる食中毒事例が、毎年9月から11月に集中して発生しており、全国では死亡事例も起きています。

■主な症状

嘔吐、下痢、腹痛などで、食後30分から3時間程度で発症

■予防のポイント

食用であると確実に判断できない野生のキノコは「採らない」「食べない」「売らない」「人にあげない」。

毒キノコを外見で見分けることは大変困難であり、毒キノコの毒は加熱や塩漬けにしても消えません。キノコを食べて体調が悪くなったなら、医療機関を受診してください。その際にキノコやその写真が残っていたら、医療機関に持参しましょう。

キノコ食中毒については、Youtube動画で詳しく説明しています。ぜひご覧ください。

【問合せ先】 駅南庁舎生活安全課

☎0857-30-8552

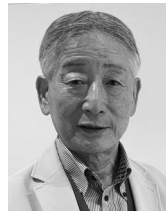
FAX0857-20-3962



困ったら一人で悩まず行政相談

9・10月は「行政相談月間」です。

行政相談は、国の行政などへの苦情や意見、要望を受け付け、担当行政機関とは異なる立場から、その解決や実現を促進するとともに、行政の制度や運営の改善に生かす仕組みです。相談は無料で、秘密は固く守られます。行政やくらしの困りごとについて、気軽に相談ください。



智頭町行政相談委員
安住博幸さん

9月の日程

- 8日(火) 午前9時30分～11時30分
[場所]ちえの森ちづ図書館
- 18日(金) 午後4時～5時30分
[場所]ちえの森ちづ図書館
- 29日(火) 午前9時～10時30分
[場所]那岐地区公民館

10月の日程

- 6日(火) 午前9時30分～11時30分
[場所]ちえの森ちづ図書館
- 20日(火) 午前9時30分～11時30分
[場所]ちえの森ちづ図書館
- 24日(土) 午前10時～午後1時
[場所]ほのぼのフェスタ特設ブース

【問合せ先】役場総務課 ☎75-4111

おしらせ

STOP風しん! 妊娠を考えているなら早めの 予防接種を!

妊娠中の女性、特に妊娠20週頃までの女性が風しんウイルスに感染すると、赤ちゃんの目や耳、心臓などに障がいが出る可能性があります。これを『先天性風しん症候群』といいます。風しんは予防接種で予防できます!

先天性風しん症候群から赤ちゃんを守るためには、妊娠中に風しんにかからないことが重要です。智頭町では下記のとおり風しん予防接種の全額助成を行っていますので、ぜひ利用ください。

対象者

- ① 妊娠を希望する女性で風しん抗体価の低い人
- ② 妊婦の夫(内縁を含む)、同居者
- ③ 妊娠を希望する女性(風しんの抗体価の低い者に限る)の同居者であって、風しんの抗体価の低い人

※ 今までに本助成を受けたことのある人は対象外です。

※ **妊娠中の人は接種できません。**

※ **接種後2か月間は避妊をしてください。**

手続き方法

以下のものをお持ちの上、保健センター福祉課までお越しください。

持ち物

【対象者全員】 印 鑑

【対象者①・③の人】

抗体価が低いことを証明できるもの

【対象者②の人】

母子健康手帳

(妊婦の配偶者・同居者であることの確認のため)

接種方法

- ・ 事前に医療機関に予約してください。
- ・ 接種日は、手続き時にお渡しする助成券、接種済証、予診票を忘れずお持ちください。

【問合せ先】保健センター福祉課 ☎75-4101

ひきこもり家族教室のお知らせ

家族同士の交流を通して、ひきこもりについての理解を深めてみませんか。

※予約不要 ※個別相談にも応じます

【日時】 9月15日(火)

(受付)午前9時45分～
(開始)午前10時～正午

【場所】 さわやか会館3階第2研修室
(鳥取市富安2丁目96)

【対象者】 ひきこもり状態にある人の家族
(本人以外)

【問合せ先】 鳥取市保健所 保健医療課
☎0857-22-5616



東部ハートフルスペースを ご存じですか?

～中学校卒業後の青少年の悩みに寄り添い、
学校復帰や社会参加・自立を応援します～

不登校傾向の高校生や家庭で悩んでいる20歳くらいまでの不登校(傾向)、ひきこもりの心配のある青少年とその家族や関係者の相談に応じています。気軽に相談ください。

【日時】 9月15日(火) 午後2時～4時まで
※9月14日(月)までに要予約

智頭町保健・医療・福祉総合センター

【場所】 「ほのぼの」相談室

※相談料はかかりません。

※秘密は厳守されますので安心ください。

【予約・問合せ先】

鳥取県教育支援センター

東部ハートフルスペース

☎0857-28-2388



相 談

アルコール・薬物・ギャンブル等 家族教室・専門相談

参加者同士の話し合いを通じて、家族自身がゆとりをもって自分らしく過ごしていけることを目指しています。

【家族教室】

【対象者】 家族の飲酒・薬物・ギャンブル等
でお困りの人(本人以外)

【日時】 9月11日(金)

午後1時30分～3時

【場所】 さわやか会館3階第2研修室
(鳥取市富安2丁目96)

【講師】 渡辺病院
精神科看護師 林 敏昭氏

【専門相談】

【対象者】 アルコール・薬物・ギャンブル等の
問題でお困りの人。本人・家族だけでなく関係者からの相談も可。

【日時】 9月11日(金)

午後3時～4時

【場所】 さわやか会館3階第1研修室
(鳥取市富安2丁目96)

【相談担当】 渡辺病院
精神科看護師 林 敏昭氏

※要予約:2日前まで ※1人30分

【予約・問合せ先】

鳥取市保健所 保健医療課

☎0857-22-5616

精神障がい者家族相談ダイヤル のお知らせ

家族のための無料電話相談です。(通話料は
かかりません) ※匿名可能・秘密厳守

【9月の相談日時】

9月3日(木)、17日(木) 午後1時～4時

【相談専用ダイヤル】 ☎090-3880-3498

【問合せ先】

鳥取県精神障害者家族会連合会事務局

☎0857-21-3031

まちづくり行事一覧 9月(September)

1 火	特設人権相談所	午前9時～11時30分/総合センター	●おせっかいの日 ●交通安全にみんなで参加する日
3 木	心配ごと相談	午後1時30分～2時30分/富沢コミュニティセンター	
4 金	やまがた地域講座	午前9時～11時/旧山形小学校	
7 月	物忘れ相談	午前9時～11時30分/ほのぼの	
8 火	行政相談所	午前9時30分～11時30分/ちえの森ちづ図書館	
9 水	介護者家族の会	午後1時30分～3時/ちえの森ちづ図書館	
10 木	心配ごと相談	午前9時～10時/総合センター	
11 金	・あたまイキイキ音読教室 ・心配ごと相談	午前10時30分～11時15分/ちえの森ちづ図書館 午後1時～2時/いざなぎ交流館	
13 日	おはなし会	午前10時30分～11時/ちえの森ちづ図書館	
15 火	・心配ごと相談 ・年金相談会	午前10時～11時/ほのぼの 午前10時～午後3時/総合センター	●交通安全にみんなで参加する日
16 水	心配ごと相談	午前10時～11時/山形地区公民館	
18 金	行政相談所	午前9時30分～11時30分/ちえの森ちづ図書館	
19 土	子どもと本を知る講座「メディアに頼りすぎない子育て」	午後2時～3時30分/ちえの森ちづ図書館 ノーメディアデー	
20 日	心配ごと相談	午前9時30分～10時30分/土師地区公民館	
21 月			敬老の日
22 火			国民の休日
23 水	●ちえの森ちづ図書館臨時開館		秋分の日
25 金	おはなし会	午前10時～10時30分/ちえの森ちづ図書館	
27 日	心配ごと相談	午後1時～2時/山郷地区公民館	
28 月	オアシスの会	午前9時30分～11時30分頃/ほのぼの	
29 火	行政相談所	午前9時～10時30分/那岐地区公民館	

*日程は、変更する場合があります。

人の動き

令和8年8月1日現在(前月比)

世帯数	2,568世帯(+ 1世帯)
人口	5,805人(0人)
女	3,085人(0人)
男	2,720人(0人)

ごめい福をお祈りします

久志谷	木村	しのぶさん	70歳
久志谷	中田	義博さん	64歳
中村	萩原	節子さん	97歳

(掲載許可をいただいた場合のみ)

お誕生おめでとう

ところ	なまえ	保護者	誕生日
河四	ハミダちゃん	ジョンさん ルシャナさん	6/30
上町	中村 朱璃ちゃん	冠太さん 萌さん	7/16
井上	白間 湊音ちゃん	一颯さん 琴音さん	7/31

くらしの情報

くらしに役立つ情報をお届けします♪

9月23日は「手話の日」

2017年12月19日、国連総会において9月23日を「手話言語の国際デー」と定める決議が採択されました。日本でも手話施策推進法により「手話の日」として定められています。

このたび、智頭町においても手話言語への理解促進と普及を目的として9月23日にブルーライトアップを実施します。

この取組をとおして、手話言語やきこえない・きこえにくい人への理解や関心が高まることを期待します。

ライトアップの場所
保健センターほのぼの

ライトアップの日時
9月23日(水)
日没後～午後9時頃まで



【問合せ先】保健センター福祉課
☎0858-75-4102
FAX 0858-75-4110



オアシスの会に参加しませんか

オアシスの会は、がんを経験された方が1人で悩まず、同じ経験をされた人と話ができる場所を作りたいという町民の思いでできました。

同じ病気を経験したからこそ分かち合えること、話せることがきっとあると思います。話をすることで、気持ちが楽になることも多いです。

9月の会では、管理栄養士が話をします。気軽に参加ください。(※申し込みは不要です)

【日時】 9月28日(月)
午前9時30分～11時30分

【場所】 ほのぼの 介護指導室

【問合せ先】保健センター福祉課 ☎75-4101

令和8年度 鳥取県高齢者健康づくり推進 大会が開催されます!!

高齢者がより健康的な生活を送るための知識や教養を深めるとともに、後期高齢者医療制度への理解が深まることを目的として、鳥取県高齢者健康づくり推進大会が開催されます。

どなたでも参加いただけますので、気軽に参加ください。

【日時】 9月13日(日)
午後2時～3時30分まで
(開場:午後1時)

【場所】 エースバック未来中心 大ホール
(倉吉市駄経寺町212-5)

【内容】 講演会
【演題】晴れやかに！笑いでつなぐ
100年人生 ～落語立川流の世界～
【講師】落語家 立川晴の輔さん

【参加費】 無料(申込み不要)
開催日当日に会場にて参加ください。

【その他】 車椅子席があります。また、手話通訳・要約筆記があります。



【問合せ先】
鳥取県後期高齢者医療広域連合 総務課
☎0858-32-1097

～麒麟のまち圏域で考える～

「第52回 人権尊重社会を実現する鳥取市民集会」開催!

【日時】 10月7日(水) 午前10時～午後3時(受付:午前9時30分～)

【場所】 とりぎん文化会館

【内容】 【全体会】誰もが自分らしく暮らすことのできる地域共生のまちづくり

～麒麟のまち圏域でさらに人権尊重の輪を広げよう～

【講演】バリアバリュー 障害を価値に変える

(株式会社三ライロ代表 垣内 俊哉さん)

【分科会】◇子どもの人権 ◇男女共同参画 ◇同和問題(部落差別)

◇障がいのある人の人権 ◇地域における人権の取り組み

◇企業における人権 ◇特別分科会



詳細は
こちらから



問合せ先 鳥取市役所本庁舎 人権推進課 ☎0857-30-8071

石谷家住宅 9月の展示案内

1号蔵展示室・主屋

石谷孝二 彫刻展

9月12日(土)～10月25日(日)

9月21日(月・祝) ※入館料のみで参加可

コンテンポラリーダンス(木野彩子氏)

午後1時30分～2時まで

アーティストトーク(石谷孝二氏による作品解説)

午後2時～2時45分まで

3号蔵展示室

いわたさいこ植物画展

植物の息遣い

9月5日(土)～10月4日(日)

1号蔵展示室

妖精の森ガラス美術館所蔵

体験型ウランガラス作品展「ゆらめく熱」

9月6日(日)まで



7月24日・25日に開催した夜間開館の様子



子どもたちの力で盛り上げた、夏の夜!(智頭町公民館納涼祭)

7月25日(土)、総合センター駐車場周辺で「第3回智頭町公民館納涼祭」が開催されました。輪舞によるよさこい演舞や甚平や浴衣姿のちづ保育園児の踊り、迫力ある山郷杉太鼓の演奏をはじめ、金魚すくいや飲食屋台などで会場は大いに盛り上がりしました。

中学生の発案から始まった納涼祭も今年で3回目。中学生ボランティアが会場設営や屋台運営を支える中、今年は智頭小学校6年生の有志が初めて企画メンバーとして参加しました。児童たちは「福笑い」や「千本引きくじ」を自分たちで考え、低学年を対象に事前に試すなど工夫を重ね、本番に挑みました。

小学生から中学生まで、子どもたちのアイデアと力が地域のにぎわいにつながり、幅広い世代が笑顔で楽しむ夏の夜となりました。